

信藤外二名の來擾と共に、工場内朝鮮人住宅方長根方を争議團本部として籠城したのである。

一月十三日組合本部書記長徳永卯作、同政治部長小山盛人の兩名を連へ争議対策協議會を開き争議團の部署を定め同日午前三時交渉委員十名が會社を訪問して工場支配人大久保健行と會見し前記要求を提示回答を迫りたるも工場長上阪中なるを以て連絡打合せの上十五日再會を約し同四時半争議團本部へ引揚げた。

争議團は解決至難なるを豫想し資金の調達並に友誼團體に對し陳文を送り援助を求め一方一月十四日會社側に罷より人夫を入れ作業を繼續することは一層對立を激化せしめるものなりとて作業休止方を抗議し益々結束を固めたのである。

この争議團の結束に對し會社側に於ては年末年始の操業休止

の爲貯石少く相當の打撃を蒙り他職場常備人夫をして辛じて業を繼續すると共に對策を講究し、上阪中の工場長と連絡を取り一月十五日争議團代表十名と會見し折衝したるも謝賃賃金値上と争議費用會社負擔の問題で妥協ならず。

十四 解 決 條 件

所轄小倉署に在りては事態尖鋭化したる爲双方に嚴重なる警告を發し解決善處方を建議したる處同日午後九時双方代表が再度會見するに至り種々折衝の結果左の覺書を以て解決したのである。

- 1、一萬二千圓は認め難きも收入に於ては減收せざる様特に善處すべし
- 2、應じ難し
- 3、應じ難し